

2019 S3 ディスク リテーラー アセンブリ マニュアル

cervélo



目次

重要な情報.....	1
ツールと備品のリスト.....	2
2019 S3 ディスク部品リスト.....	3
フレームの特徴.....	4
ハンドルバーヒステムのコンポーネント.....	5
フォークヘッドセットのコンポーネント.....	6
小さな部品.....	7
フレームの準備.....	8
S3 ディスクアセンブリの概要.....	9
電気ケーブルの概要.....	11
機械ケーブルの概要.....	12
ブレーキハウジングのルーティング.....	13
電気ケーブル配線.....	15
機械的なケーブル配線.....	16
ST029 ステムカット.....	17
ST029 ステムカット手順.....	18
ST029 ステムカット計算機.....	19
フォークヒステムの取り付け - 電動.....	20
フォークヒステムの取り付け - 機械的.....	21
ヘッドセットの調整.....	22
ステムの締め付け.....	23
ハンドルバーケーブル配線 - 電動.....	24
ハンドルバーケーブルルーティング - 機械式.....	25
D12 バッテリーの取り付け.....	26
電気ケーブルの設置.....	27
機械ケーブルの取り付け.....	28
シートポストアセンブリ.....	29
シートポストの切断手順.....	30
フレーム保護の取り付け.....	31
タイヤクリランプ.....	32
迅速な前輪ホイールの取り付け.....	33

重要な情報

このマニュアルは、Cervéloの販売店が2019年モデルのS3 Discバイクのセットアップとカスタマイズを行う際に役立ちます。このマニュアルは一般ユーザー向けではなく、適切な組み立てには指定された工具が必要です。

指定された部品を使用し、付属の組み立て説明書に従わない場合、走行中に制御不能となり、重傷を負う可能性があります。このマニュアルは、この自転車の組み立てに必要な手順と、このマニュアルに記載されている変更を行なうための手順の概要です。このマニュアルは、販売店がすべてのプロの自転車整備士に求められる最低限の知識とスキルレベルを有していることを前提としています。詳細は<https://www.probma.org/>をご覧ください。

注意: Cervéloは、すべての組み立ておよび調整手順をCervélo正規販売店にご依頼いただくことを強く推奨いたします。Cervélo S3 Discのお客様/購入者で、このマニュアルをお読みになっている場合は、このマニュアルに記載されている手順を実行する前に、Cervélo正規販売店にご相談いただくか、www.cervelo.com/supportをご覗ください。

ツールと備品のリスト

このマニュアルでは、S3 Discのオプション調整手順について説明しています。これらの調整手順は、Cervéloが最初に販売した自転車とは異なるものです。これらの調整には、以下の工具と部品が必要です。これらの部品はCervélo正規販売店でのみご購入いただけます。Cervéloは、すべての組み立ておよび調整手順をCervélo正規販売店で行なうことを強くお勧めします。

別途購入可能なすべての部品は、このマニュアルに Cervélo 部品番号とともにすべて大文字で記載されており、完全なリストは 3 ページに記載されています。

注: SIMOやSRAMなどの非独自コンポーネントはすべて

お近くの販売店から入手可能です。

注意: このマニュアルは、Cervélo一般ユーザー マニュアルを補完するために作成されたもので、コンポーネント製造元が提供する組み立ておよび取り付け手順（この自転車に付属）を補足することを目的としています。

ツール	ツール
	自転車用ワークスタンド（シートポストで自転車を固定するタイプ、またはフォークマウント付きのプロ用スタンド）
	プラスドライバー
	マイナスドライバー
	ペダルレンチ
	ブレーキローターロックリングツール
	油圧ブリードキット
	Di2ワイヤーツール - シマノ
	良質の自転車用グリース

2019 S3 ディスク パーツリスト

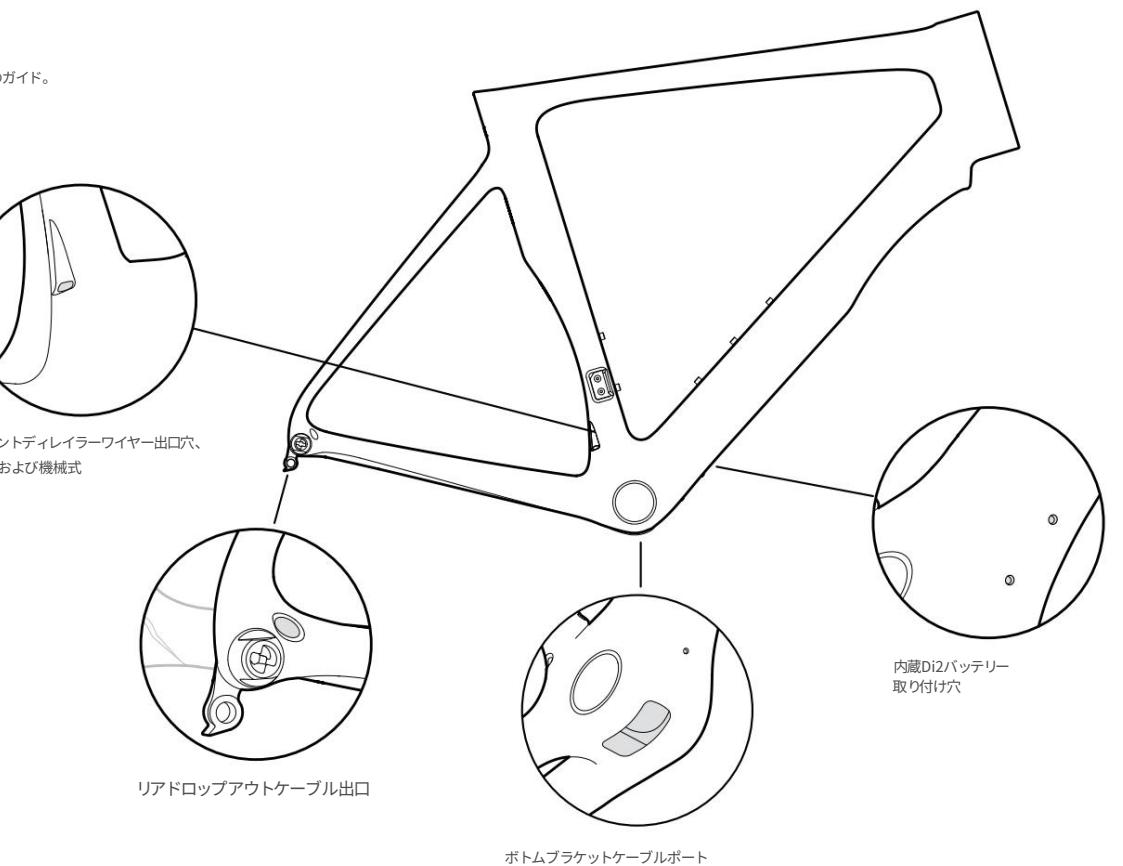
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
フォーククランプウェッジキット FK-0E0S3	
フロントディレイラー ボルトで取り付け	FDM-0E0
ディスクブレーキホース ガイド	CBG-DBH
ST029 ステム 80mm w/ トップキャップ	ST-A029-80
ST029 ステム 90mm w/ トップキャップ	ST-A029-90
ST029 ステム 100mm トップ キャップ付き	ST-A029-100
ST029 ステム 110mm トップ キャップ付き	ST-A029-110
ST029 ステム 120mm トップ キャップ付き	ST-A029-120

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
ST029 ステム 130mm トップ キャップ付き	ST-A029-130
ST029 ステムトップ キャップ	STC-A029
AB09 カーボン ハンドルバー 380mm	HB-AB09-38
AB09 カーボン ハンドルバー 400mm	HB-AB09-40
AB09 カーボン ハンドルバー 420mm	HB-AB09-42
AB09 カーボン ハンドルバー 440mm	HB-AB09-44
ST029 ステムスペーサー キット40mm	SS-A029-キット
ST029 ヘッドセット ペアリングキャップ	BC-A029

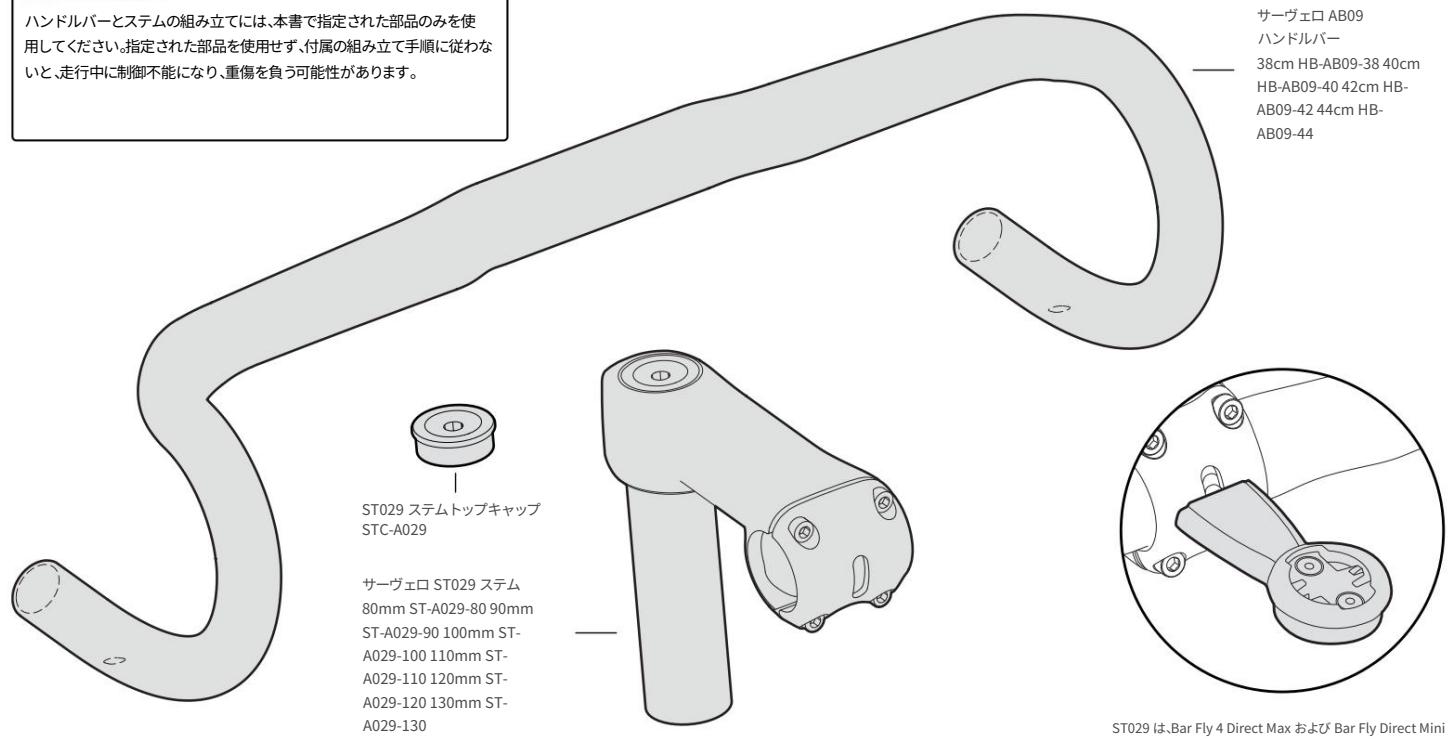
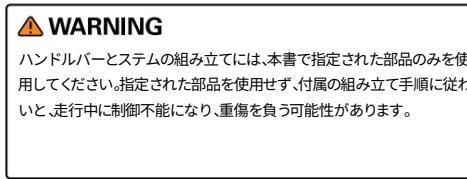
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
ST029 ヘッドセット 1-1/4 - 1-3/8	HS-A029
SP20カーボン シートポスト 0mm ヘッド付きオフセット	SP-SP20-ゼロ
SP20カーボン シートポスト 25mm ヘッド付きオフセット	SP-SP20-25MM
シートポストクランプ アセンブリS2/S3	SPC-0E0S2S3
BBケーブルガイド/カバー BBG-0E0	
内蔵バッテリーマウント 組み立て	MT-BINT

フレームの特徴

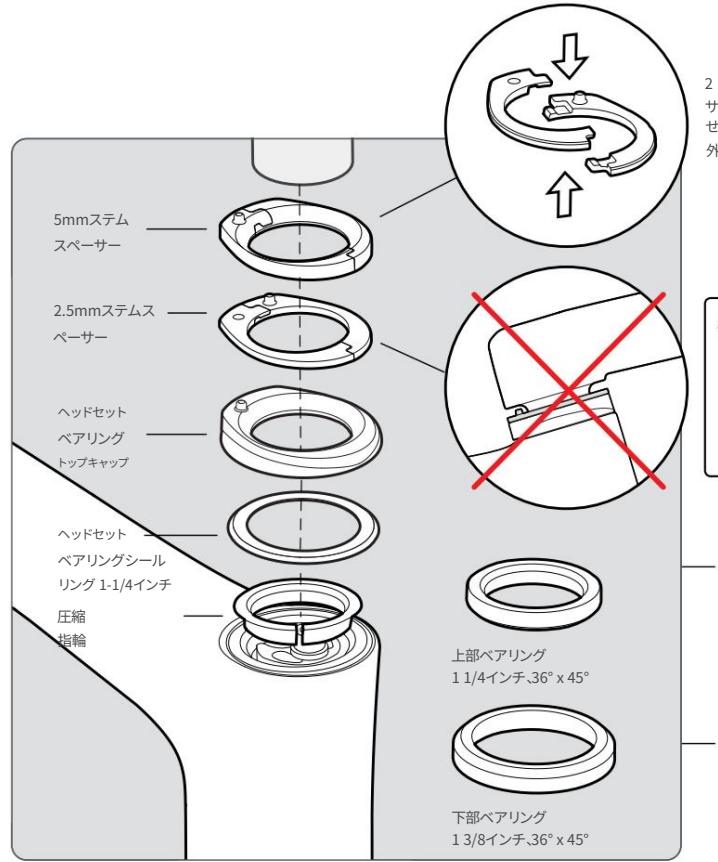
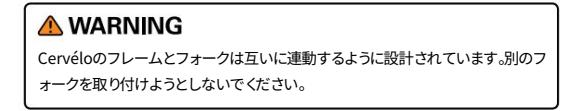
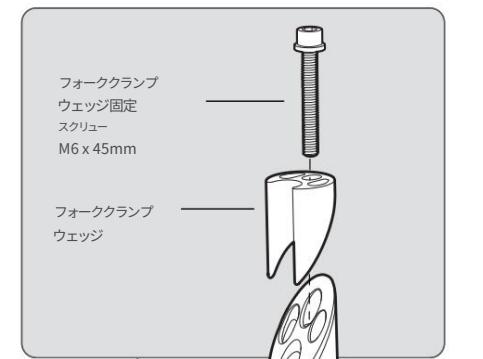
Cervélo S3 ディスクフレームのガイド。



ハンドルバー&ステムコンポーネント

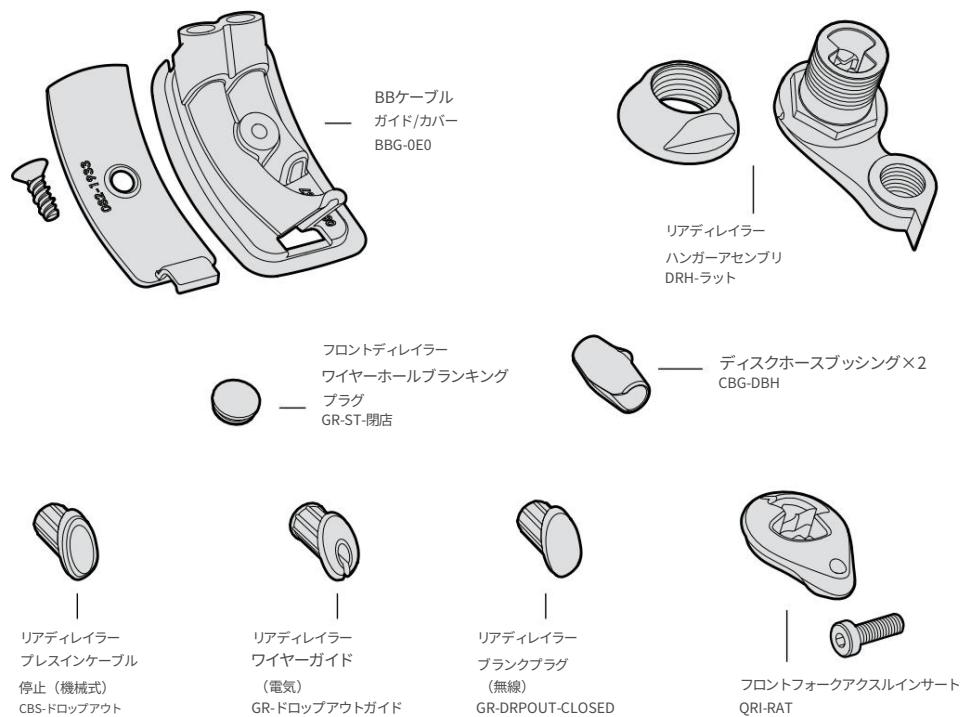


フォーク&ヘッドセットコンポーネント



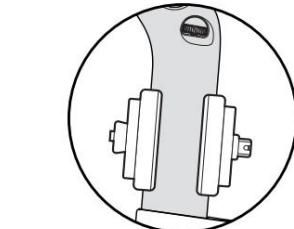
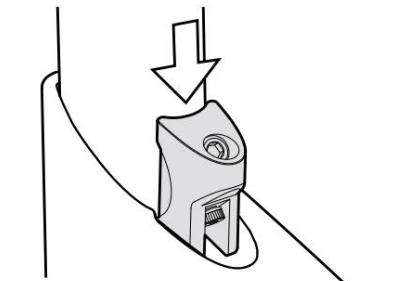
小さな部品

S3 ディスク フレームは、電子制御、機械制御、油圧制御に対応するように設計されており、方法やブランドに関係なく、すべてのシフトシステムをシームレスに統合できるように設計されています。
そのためには、以下に示す部品が必要になります。



フレームの準備

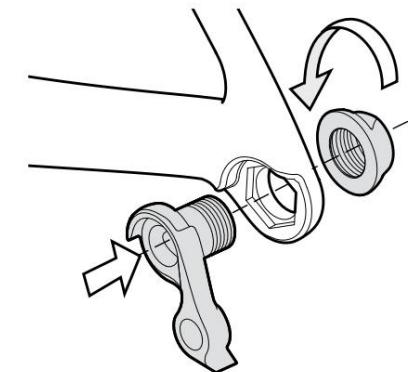
1. フレームとシートポストの両方にカーボンアセンブリコンパウンドを塗布します。
2. シートポストクランプ (SPC-0E0S2S3) を完全に挿入します。
フレームにトップチューブと完全に面一になるように取り付けます。
3. 高さとトルクを最大 8Nm に調整します。



WARNING
固定されたシートポストのみを使用してフレームを保持します。

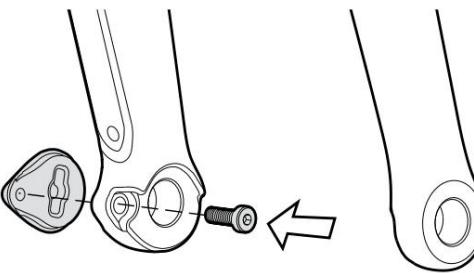


WARNING
トップチューブをクランプするとフレームが損傷し、保証が無効になる場合があります。



リアディレイラー ハンガーナットに軽くグリースを塗り、リアディレイラー ハンガ (Cervélo Rapid Axle の場合は DRH-RAT) を指で締めて取り付けます。
後輪取り付け後に最終締め付けを行います。

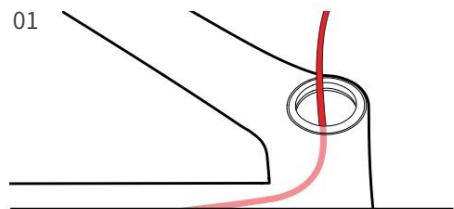
WARNING
後輪を取り付けていない状態でリアディレイラー ハンガーアセンブリを本締めしないでください。そうしないと、ディレイラーの位置がずれ、変速が悪くなります。



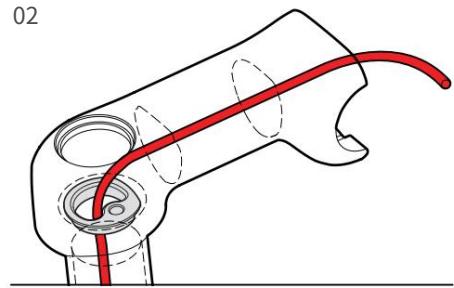
付属の M4 固定ネジに軽くグリースを塗り、フロントフォーク アクスル インサート (Cervélo Rapid Axle 用 QRI-RAT) をフォークに取り付けます。
3Nmまで締めます。

S3 ディスクアセンブリの概要*

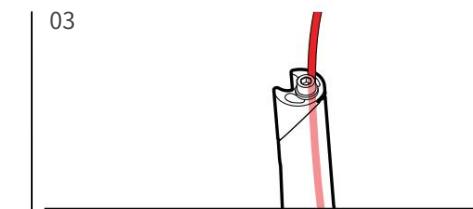
注:より詳細な組み立て手順については、次のページを参照してください。



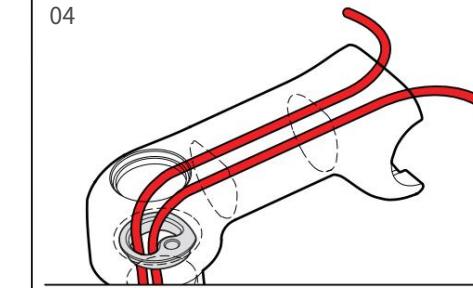
軽くグリースを塗った上部ヘッドセットベアリングを取り付けます。
切断されていないリア ブレーキ ホースをチェーン ステーから配線し、ヘッドチューブの上部を通ってフレームから出ます。



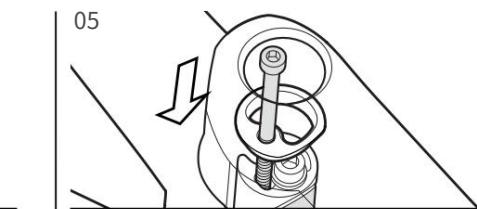
ステムステアラーに、必要なステムスペーサー、ヘッドセットトップキャップ、シールリング、コンプレッションリングを取り付けます。これらは後で取り付けるためです。リアホースをステムに通して、ステムの口から出るようにします。



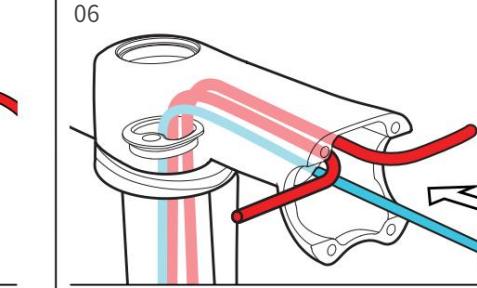
フロント ブレーキ ホースをフォークに通して、非ドライブ側のフォーク クランプ ウェッジから出します。
取り付け前に、フォーク ステアラーの外側とステム ステアラーの内側の接触部分にカーボン アセンブリ コンパウンドを塗布します。



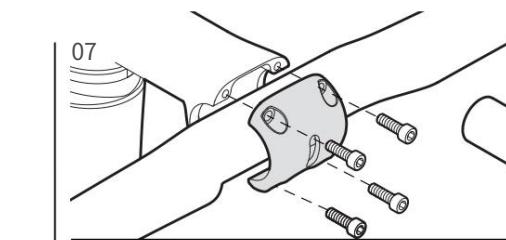
軽くグリースを塗った下部ベアリングを取り付け、フレームとステムステアラーにフォークを取り付け、フロント ブレーキ ホースを、ステムを通るリア ブレーキ ホースと同じ経路を通して配線します。



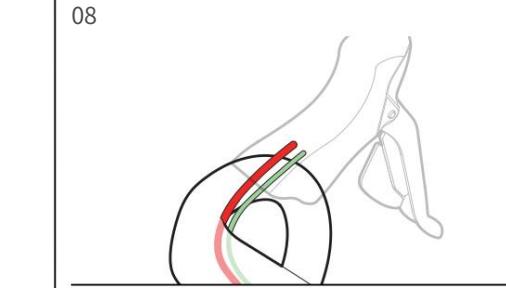
軽くグリースを塗ったM5 x 100mmのブリードスクリューを取り付けます。ベアリングのガタがなくなるまで締め付けます。



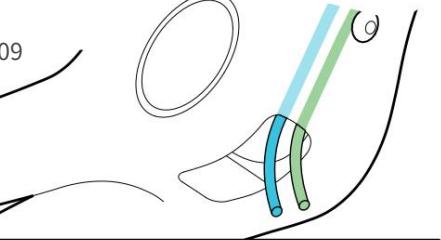
ステムの入り口から始め、シフター ハウジングをステムに通し、シフターからBBケーブルポートまで届くようにします。2つ目のシフター ハウジングについてもこれを繰り返し、どのハウジングが前側でどのハウジングが後側かを確認します。



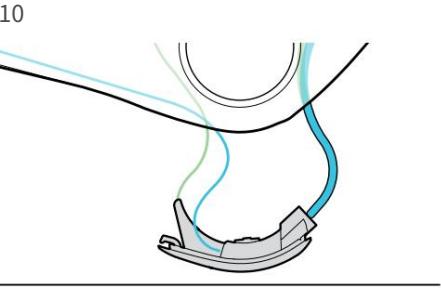
バーにシフターを取り付けた状態で、ホースとシフター ハウジングがフェースプレートの適切な側にあることを確認しながら、バーをステムに取り付けます。
ハンドルバーとステムのフェースプレートの接触部分にカーボンアセンブリコンパウンドを塗布します。



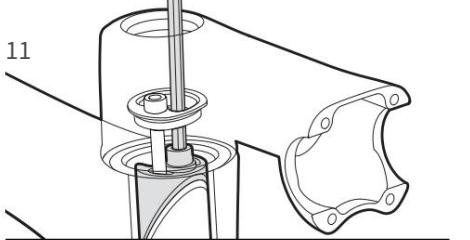
ケーブルとホースの端をシフターに取り付けます。引いて/または、ホースとハウジングがシステム内を移動するように軽く押します。



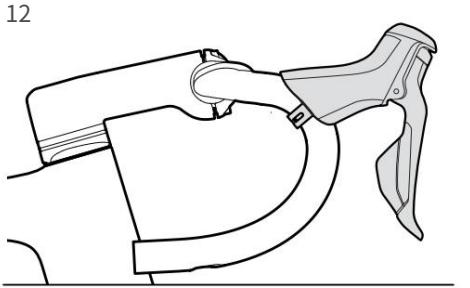
BB ケーブル ポートの先端にあるシフター ハウジングをトリミングし、製造元の指示に従ってケーブルを取り付けます。



フェルール付きのハウジングを BB ケーブル ガイドに取り付け、それに応じてシフター ケーブルをフレームに通します。



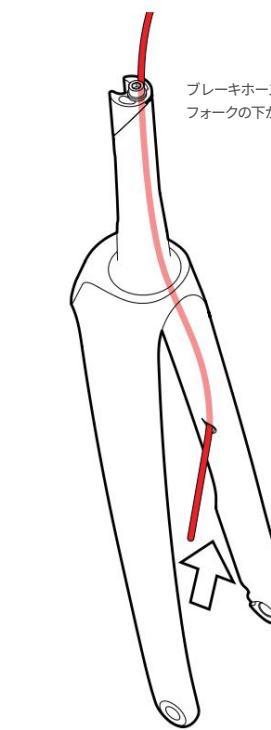
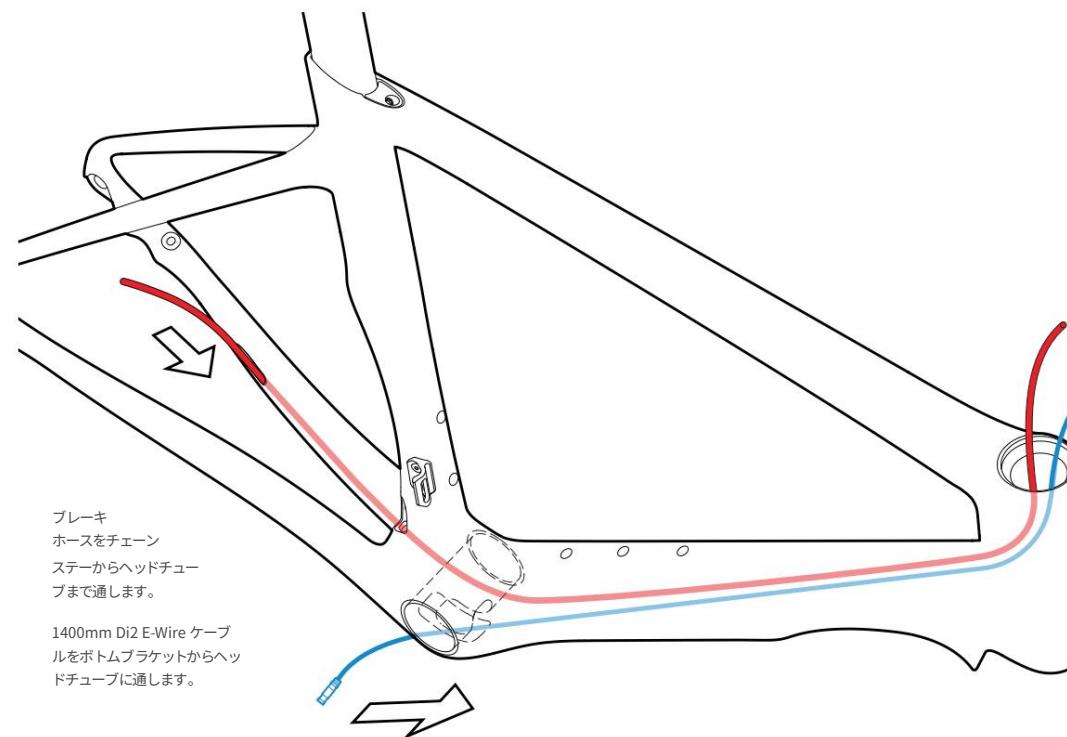
ステムをまっすぐにして、フォーク クランプ ウェッジを締めて固定します。



残りのコントロールを接続して組み立てを完了します。

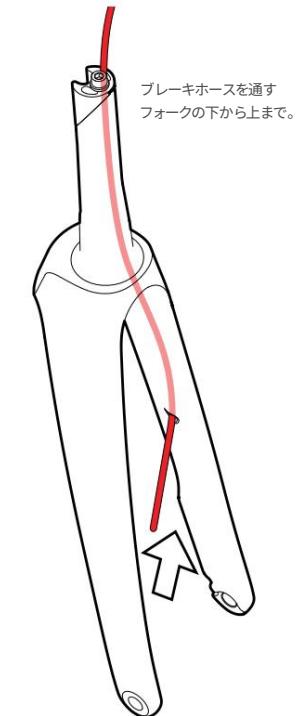
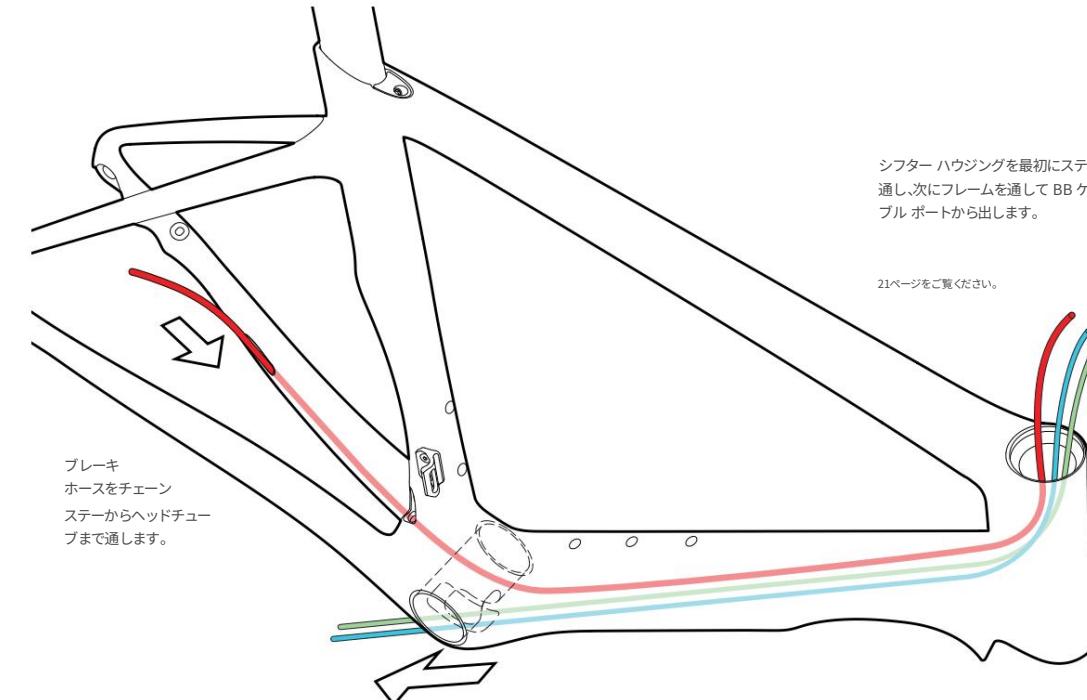
電気ケーブルの概要

● ブレーキ ● Eワイヤー



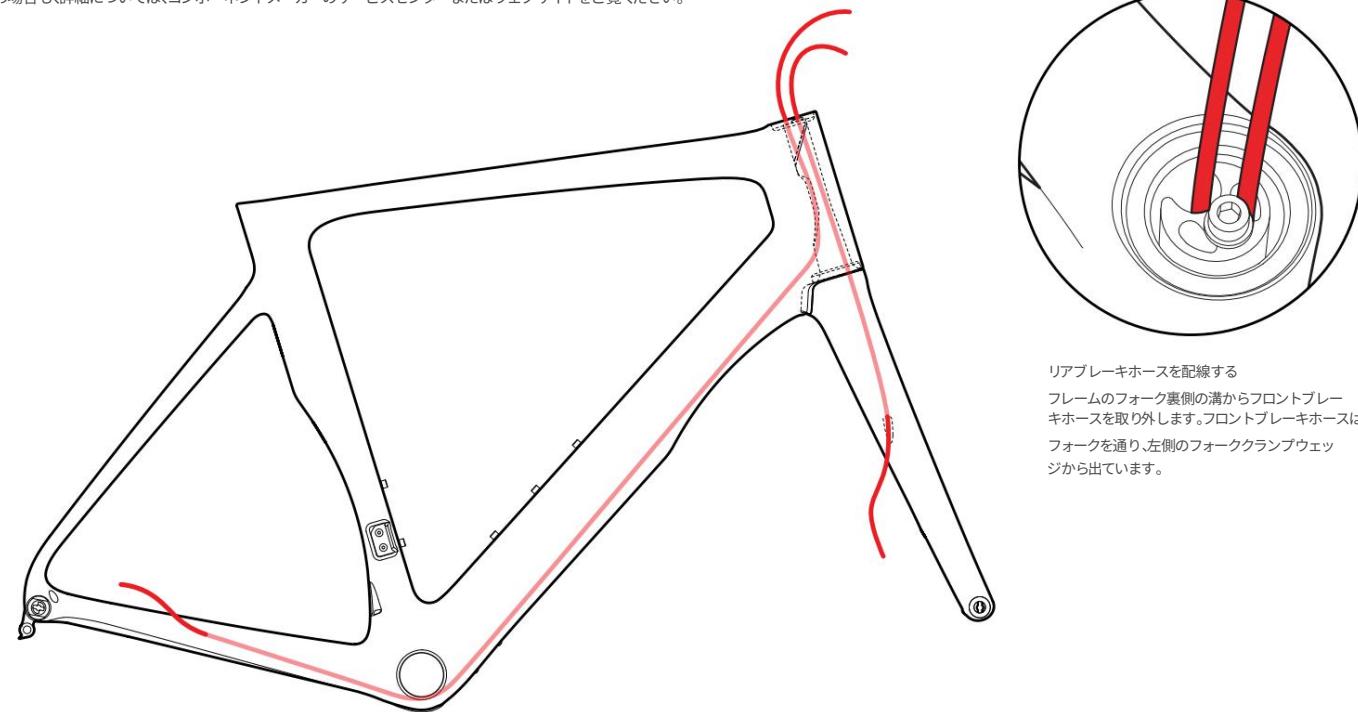
メカニカルケーブルの概要

● ブレーキ ● リアシフター ● フロントシフター



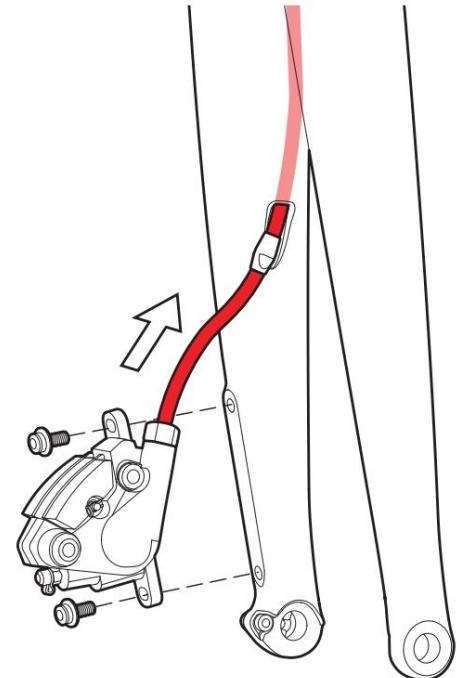
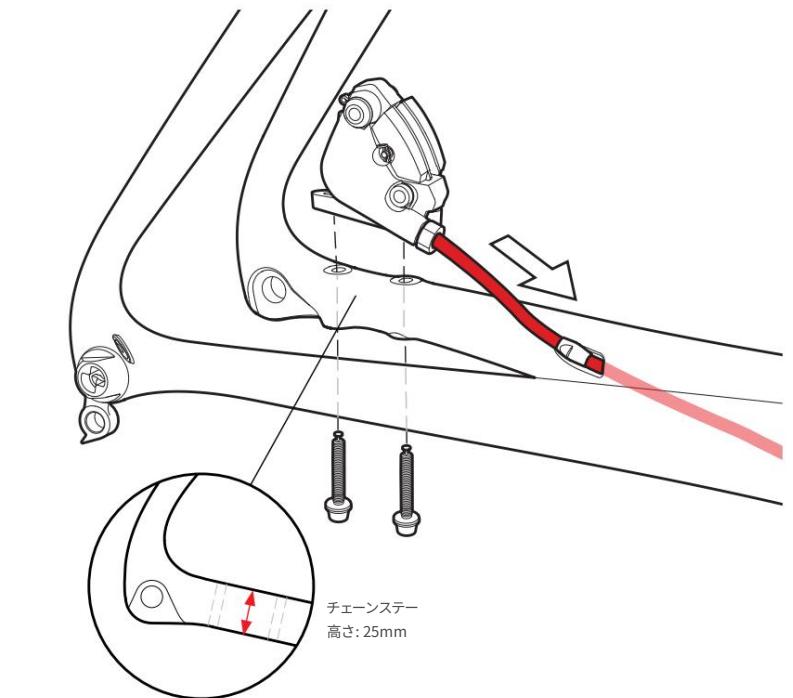
ブレーキハウジングのルーティング

油圧ブレーキホースまたはブレーキケーブルハウジングを最初に取り付けることをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。油圧式ディスクブレーキと機械式ディスクブレーキのいずれの場合も、詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覗ください。



ブレーキハウジングのルーティング

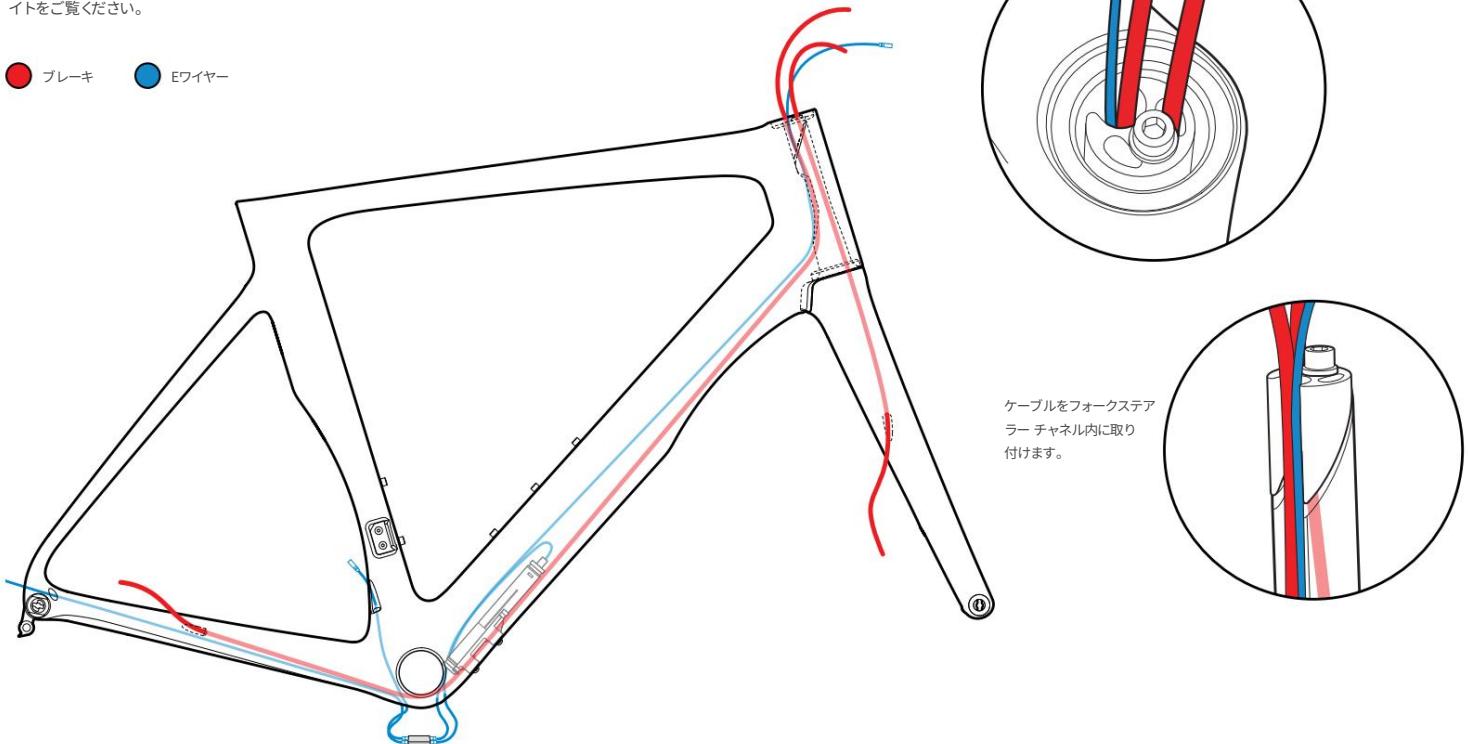
ディスクホースブッシング（CBG-DBH）を使用して、油圧ブレーキホースまたは機械式ブレーキハウジングをフレームとフォークに通します。キャリパーはメーカーの指示に従って取り付け、調整してください。



電気ケーブル配線

ブレーキホースを取り付けた後に、電気配線と接続ポイントを設置することをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、部品メーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

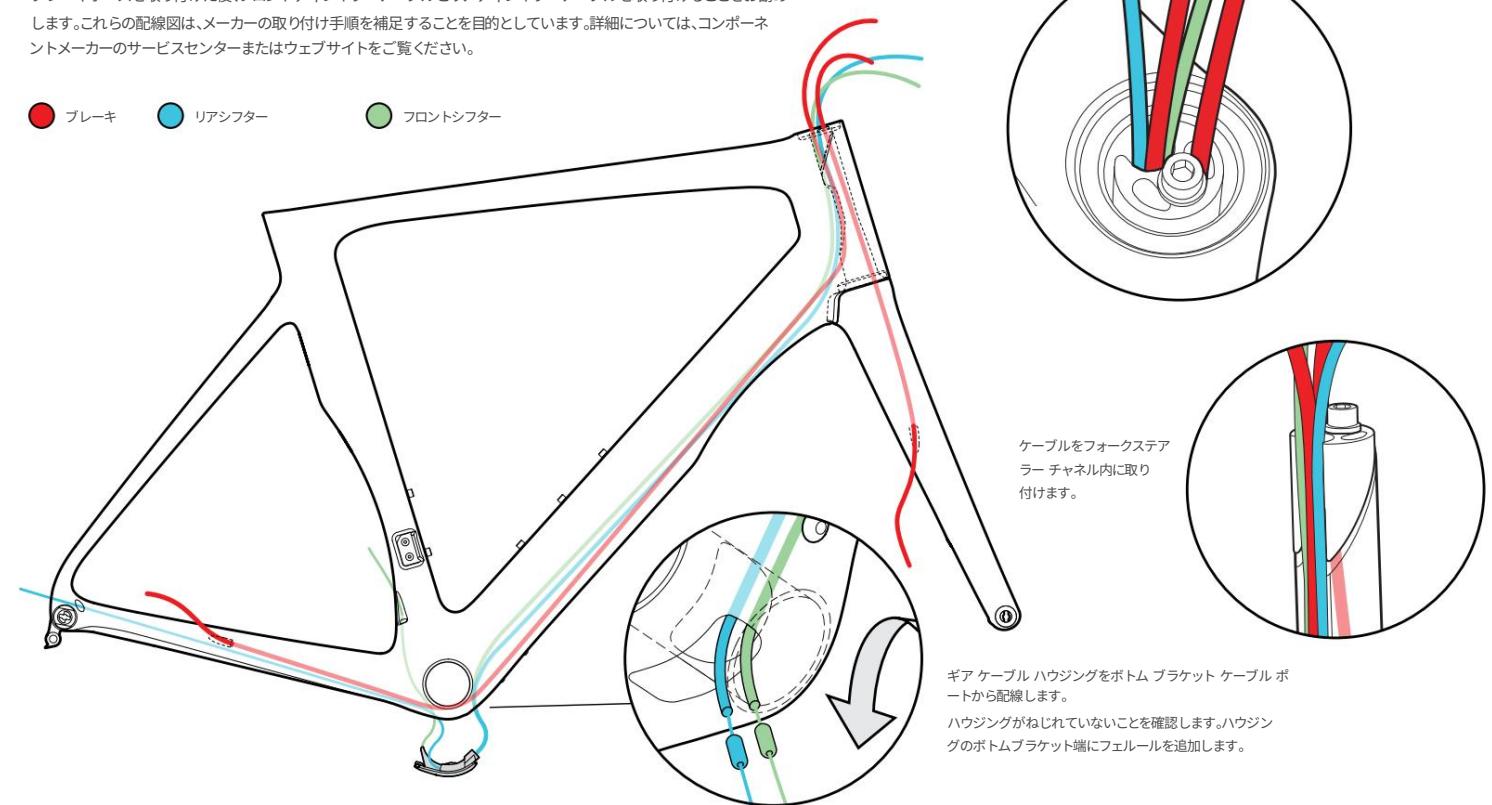
● ブレーキ ● Eワイヤー



機械ケーブル配線

ブレーキホースを取り付けた後、フロントディレイラーケーブルとリアディレイラーケーブルを取り付けることをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

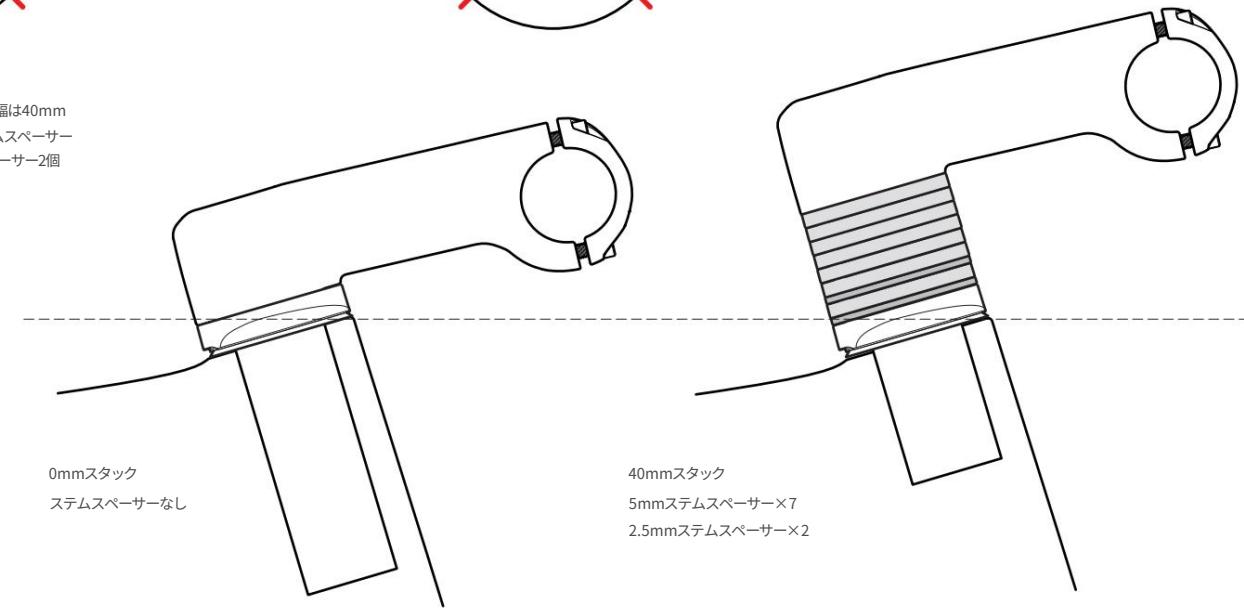
● ブレーキ ● リアシフター ● フロントシフター



ST029 ステムスタック

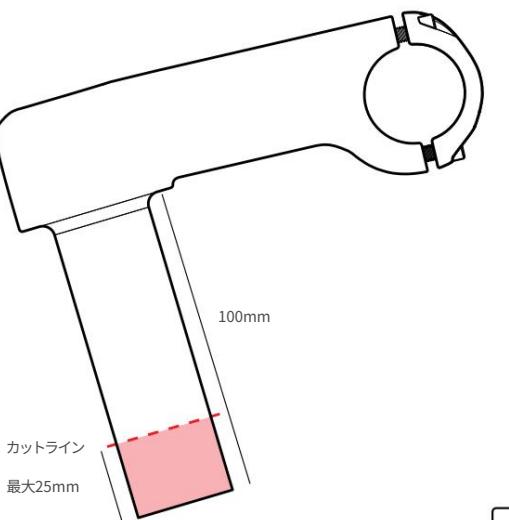


注:ステムスタックの最大調整幅は40mmです。この調整には、5mmステムスペーサー7個すべてと2.5mmステムスペーサー2個が必要です。



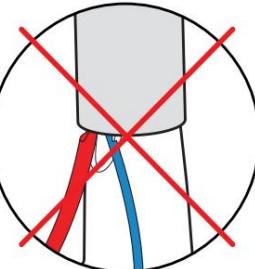
ST029 ステムカット手順

48cmおよび51cmのS3ディスクフレームでは、ステムを最も低いスタックポジションに配置するためにステムステアラーを切断する必要があります。54cmから61cmのフレームではステムを切断する必要はありません。

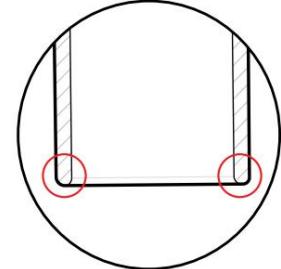


WARNING
ステムステアラーをカットして低い位置によっては、適切なクランプを確保するために、ステムステアラーの最小挿入ラインを同じ量だけ上に移動する必要があります。

1. 薄い色のグリースペンシルを使って、切り取る場所を正確にマークします。
ステムステアラーのボトムエッジから5mm～25mm離してください。フレームサイズと希望するスペーサースタックの組み合わせに基づく正確な数値については、19ページの表をご覧ください。
2. ST029 を Park Tool SG-6 ソーガイド（または同等品）に挿入し、ツールのブレードガイドを通してカットオフラインがはっきりと見えるようにします。
3. 金属切断専用に設計されたブレードを使用して、ステムステアラーの切断に進みます（Park Tool の指示に従ってください）。
4. 切り口を丁寧にヤスリで削り、バリを取り除き、切り口の内側と外側の両方に半径を付けます。



WARNING
ステムステアラーは底付起きしてはならない！
フォークステアラーのテーパー部分に接触してください。ステムステアラーによってフォークやブレーキホースが損傷すると、走行中に制御不能になり、重傷を負う可能性があります。



WARNING
切削面の内側と外側が滑らかで、フォークを傷つけるバリがないことを確認します。
ステムステアラーによってフォークやブレーキホースが損傷すると、走行中に制御不能になり、重大な傷害を負う可能性があります。

ST029 ステムカット計算機

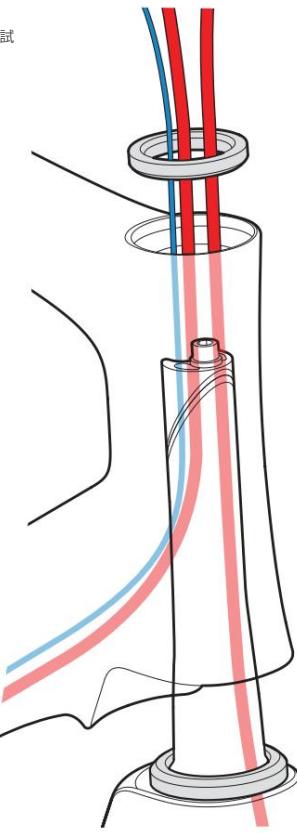
フレームサイズ*	48cm		51cm	
スペーサースタック (mm)	削除された長さ ステムステアーズ	結果として得られる最大スペーザー スタック可能	削除された長さ ステムステアーズ	結果として得られる最大スペーザー スタック可能
0mm (押し込んだ状態)	25mm	15mm	5mm	35mm
5mm	20mm	20mm	0mm	40mm
10mm	15mm	25mm	0mm	40mm
15mm	10mm	30mm	0mm	40mm
20mm	5mm	35mm	0mm	40mm
25mm	0mm	40mm	0mm	40mm
30mm	0mm	40mm	0mm	40mm
35mm	0mm	40mm	0mm	40mm
40mm (最大許容値)	0mm	40mm	0mm	40mm

*サイズ54cm以上のフレームにはステムステアラーの切断は必要ありません。

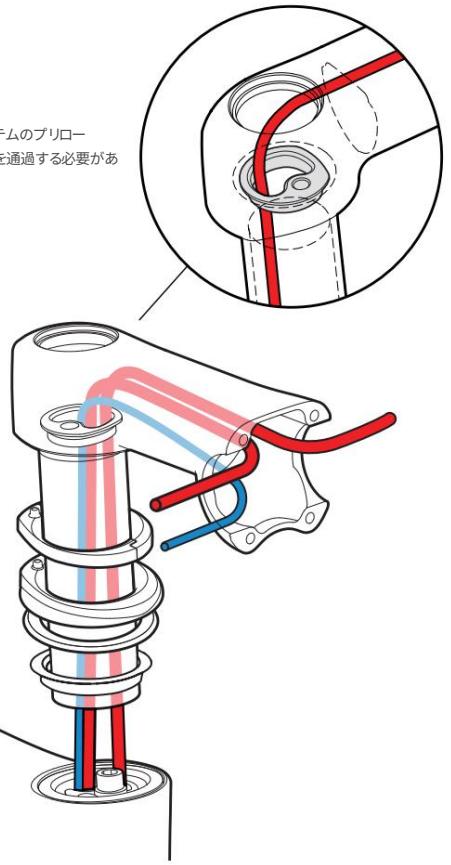
フォーク&ステムの取り付け - 電動

注意:完全な取り付けを行う前に、ホースや制御ケーブルを取り付けない状態で試しに組み立て、ステアリングシステムに慣れておくことをお勧めします。

1. 軽くグリースを塗った下部ペアリングをフォークに取り付けます。
2. ブレーキホースと1400mm Di2 E ワイヤーを、軽くグリースを塗った上部ペアリングに通します。
3. 上部ペアリングをフレームに押し込みます。
4. 希望するシステムスペーザーをスライドさせて、ペアリングトップキャップ、シールリング、コンプレッションリングをシステムに取り付けます。システムの真下に2.5mmのシステムスペーザーを配置しないでください。
5. リアブレーキホースとE-Wireケーブルを通すシステムステアラー通り、プリロードインサートを通ってシステムの口から出ます。
6. カーボンアセンブリコンパウンドを塗布するフォークステアラーの外側とシステムステアラーの内側に接触する部分です。
7. フォークをシステムステアラーに取り付け、フロントブレーキホースを、システムを通るリアブレーキホースと同じ経路を通るように配線します。
8. プリロードスクリューを取り付けます (22ページ参照)。ペアリングの遊びをなくすために締め付けます。



ケーブルはシステムのプリロードインサートを通過する必要があります。



フォーク&ステムの取り付け - 機械式

注意:完全な取り付けを行う前に、ホースや制御ケーブルを取り付けない状態で試しに組み立てて、ステアリング システムに慣れておくことをお勧めします。

1. 軽くグリースを塗った下部ペアリングをフォークに取り付けます。
2. 軽くグリースを塗った上部ペアリングにブレーキホースを通します。

3. 上部ペアリングをフレームに押し込みます。

4. 希望するシステムスペーサーをスライドさせ、ペアリングを取り付けます。
トップキャップ、シールリング、コンプレッションリングをシステムに取り付けます。システムの真下に2.5mmのシステムスペーザーを取り付けないでください。

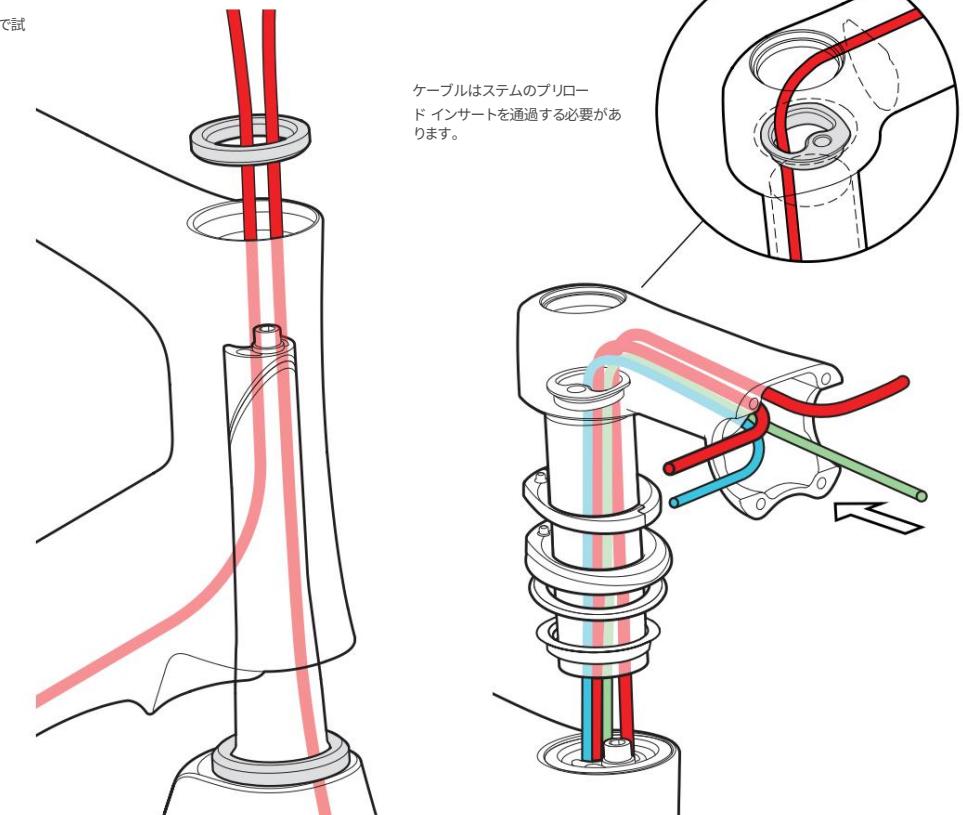
5. リアブレーキホースをシステムステアラーに通します。
プリロードインサートを通ってシステムの口から出できます。

6. 接触するフォーク ステアラーの外側とシステム ステアラーの内側にカーボン
アセンブリ コンパウンドを塗布します。

7. フォークをシステムステアラーに取り付け、配線する
フロントブレーキホースが、システムを通ってリアと同じ経路を通りるように
します。

8. プリロードスクリューを取り付けます（22ページ参照）。ペアリングの
遊びをなくすために締め付けます。

9. 茎の口から始めて、フィードシフター
ハウジングを1本ずつシステムに通して、シフターから BB ケーブル ポートまで届くようにします。

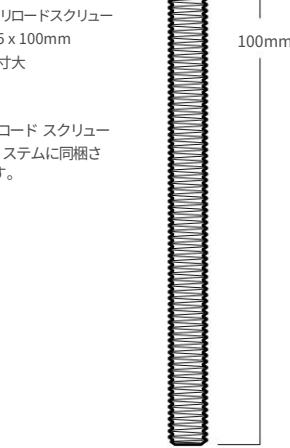


ヘッドセットの調整

1. 軽くグリースを塗った M5 x 100mm プリロード ネジをプリロード インサー
トに通して、ドライブ側のフォーク ランプ ホールにねじ込みます。

2. プリロード スクリューを締めて、ペアリングの遊びを除去します。

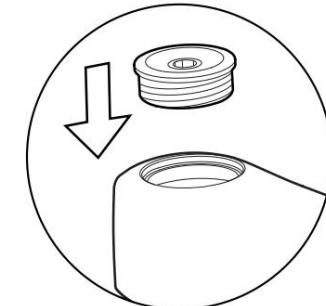
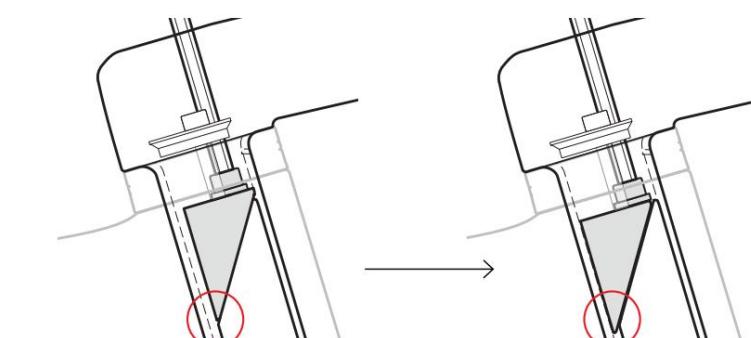
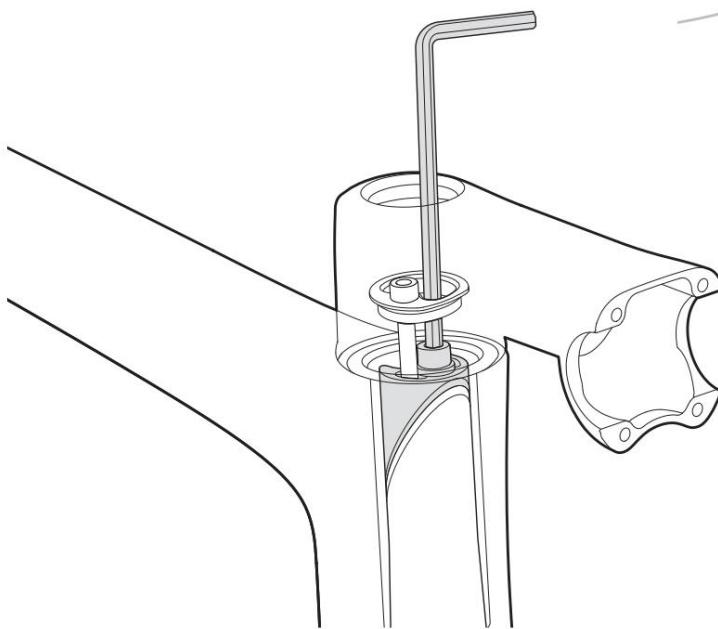
注:この図は組み立ての参考用です。組み立て完了時には、ホー
スと制御ケーブルが付属します。



ステム締め付け

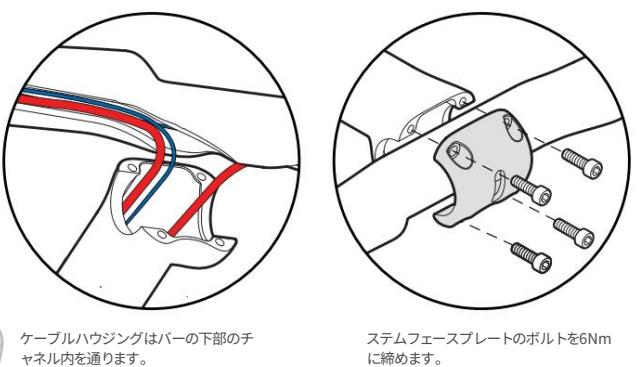
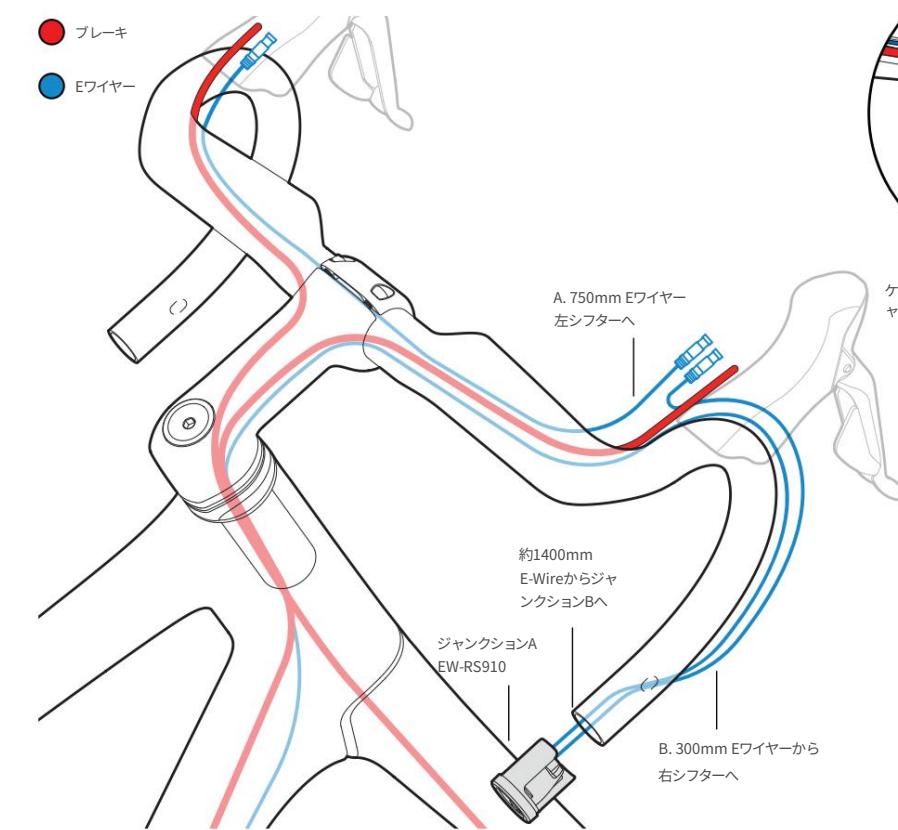
ステムを前輪に合わせ、フォークウェッジクランプを締めます。軽くグリースを塗ったフォークウェッジ固定ネジを12Nmで締めます。

注:この図は組み立ての参考用です。組み立て完了時には、ホースと制御ケーブルが付属します。



ハンドルバーケーブルルーティング - 電動

- ブレーキ
- Eワイヤー



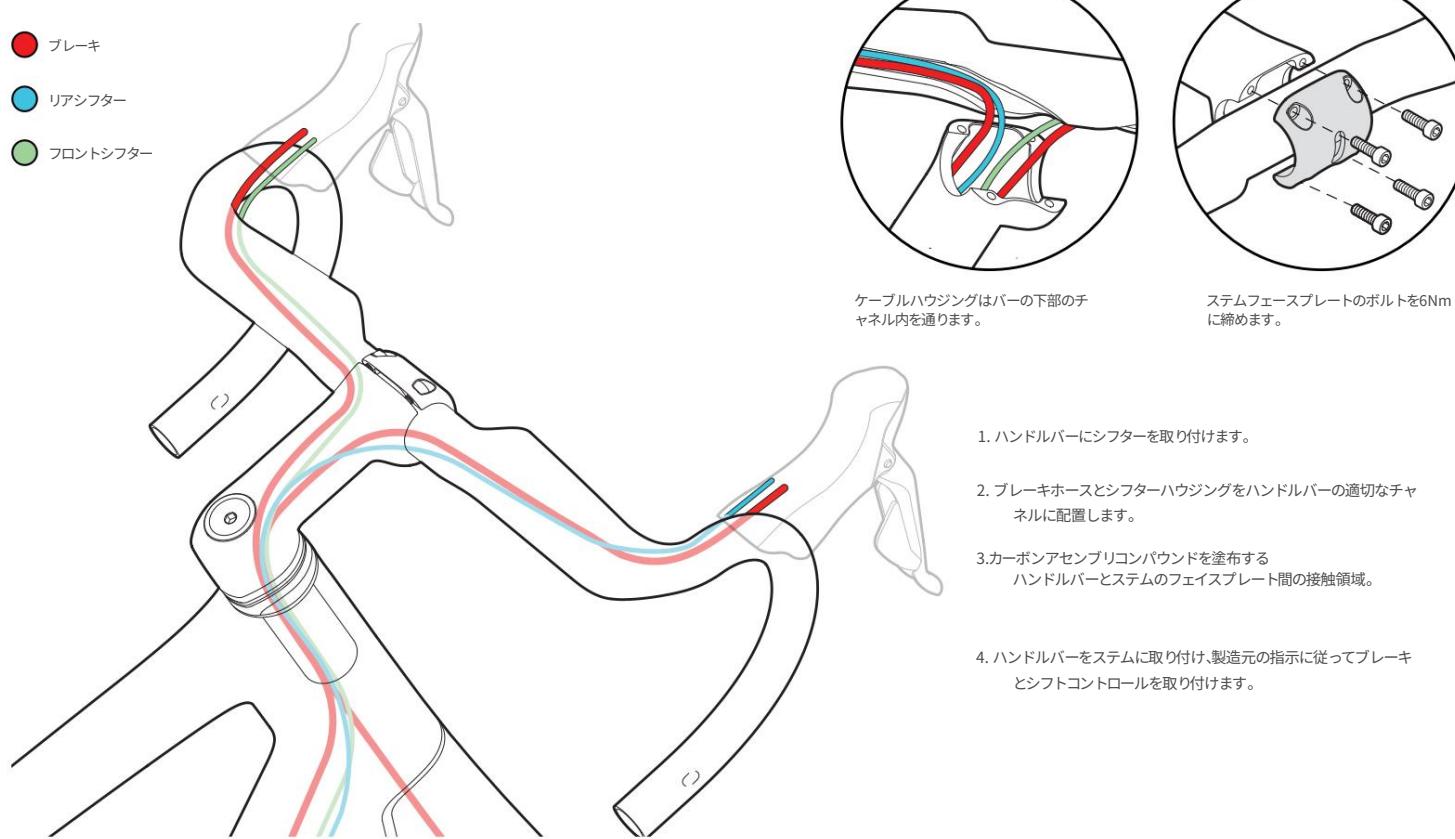
1. ハンドルバーにシフターを取り付け、左右は750mmのE-Wire Aを使用します。
2. ジャンクションA (EW-RS910)を右シフターに接続する300mmのEワイヤBを取り付けます。
3. 1400mm E-Wire Cをフレームからステムに通してジャンクション Aに接続します。
4. ブレーキホースとEワイヤーをハンドルバーの適切なチャネルへ。
5. カーボンアセンブリコンパウンドを塗布するハンドルバーとステムのフェイスプレート間の接触領域。
6. ハンドルバーをステムに取り付け、製造元の指示に従ってブレーキとシフトコントロールを取り付けます。

ハンドルバーケーブルルーティング - メカニカル

ブレーキ

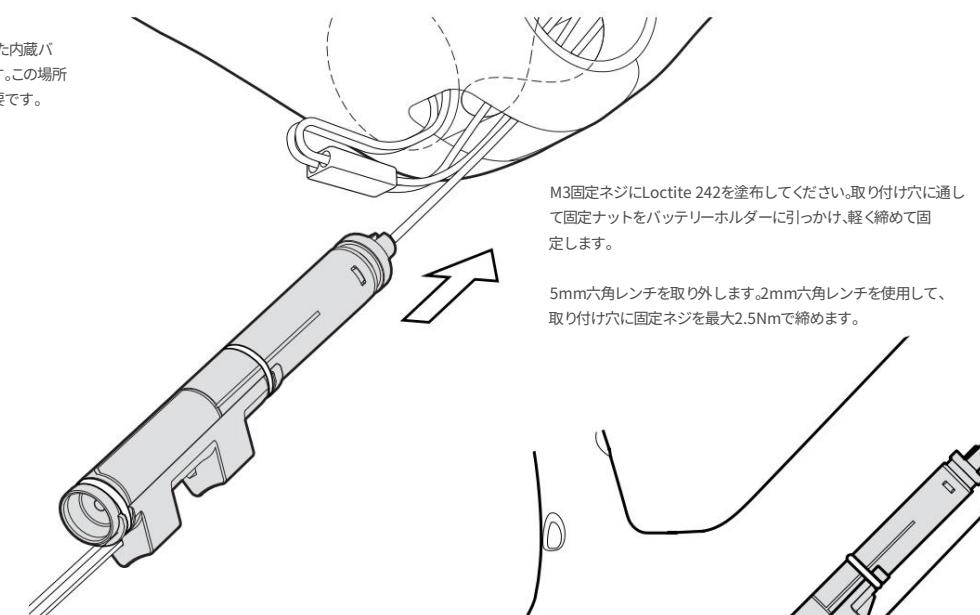
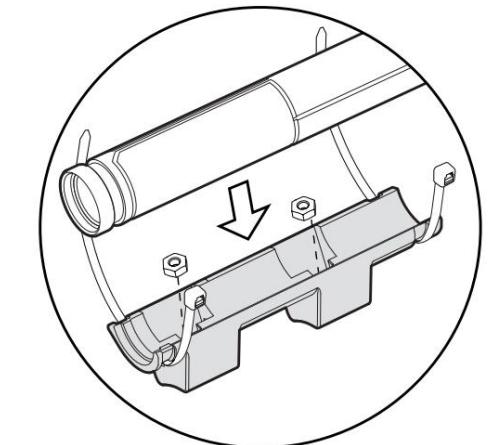
リアシフター

フロントシフター

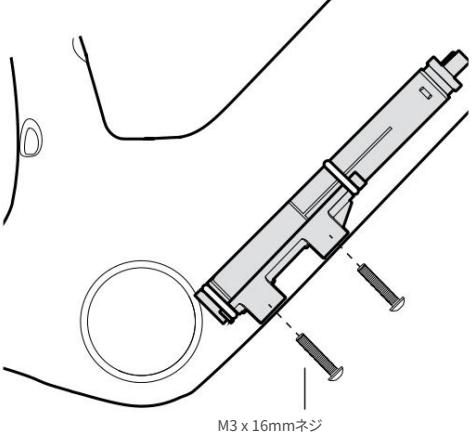


Di2バッテリーの取り付け

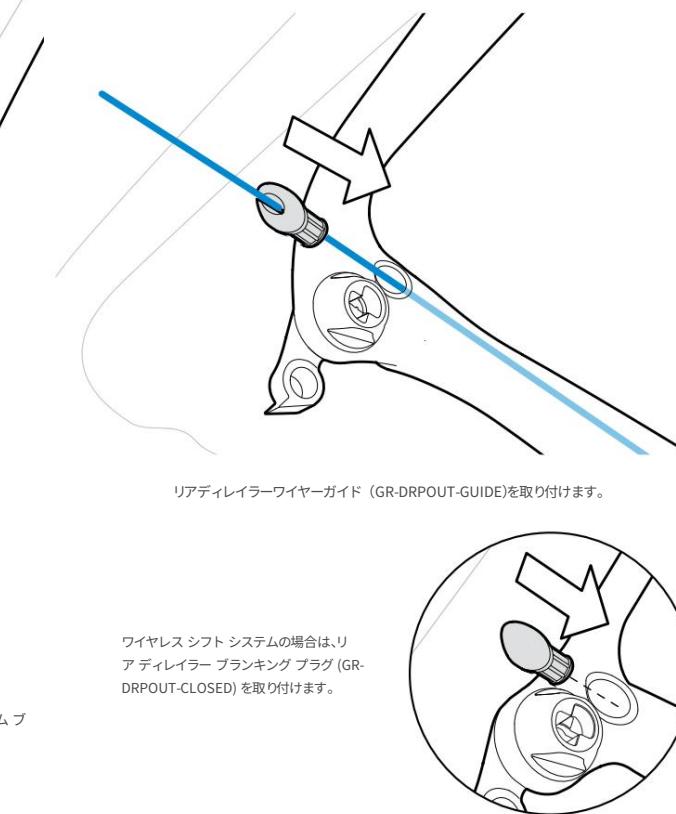
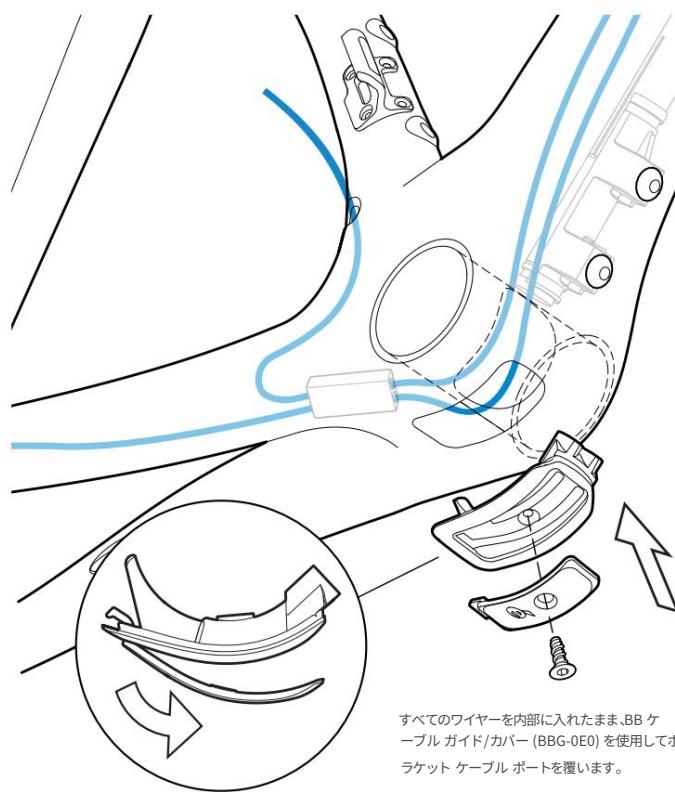
Shimano Di2システムのバッテリーは、このフレームに合わせて設計された内蔵バッテリーマウント (MT-BINT) を使用してダウンチューブ内に取り付けます。この場所は密閉されているため、最終取り付け前にシステムをテストすることが重要です。



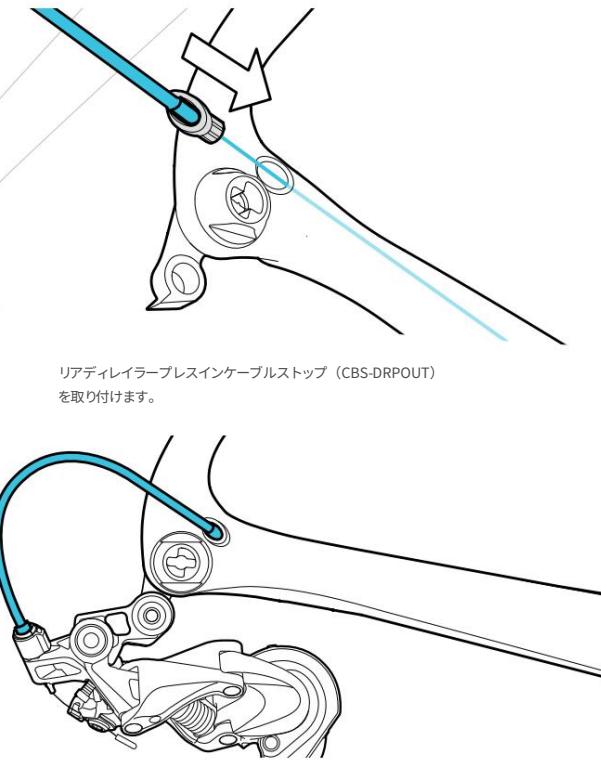
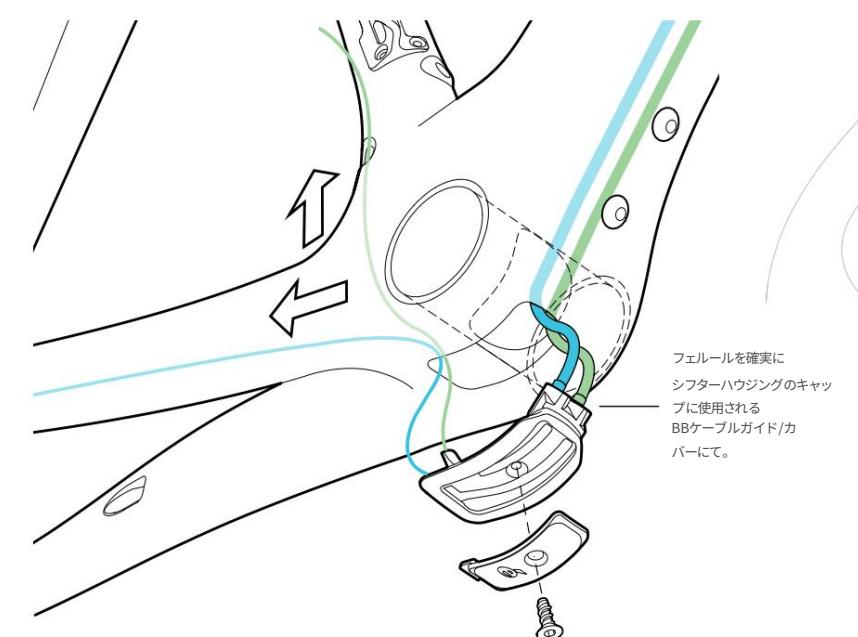
バッテリーとホルダー アセンブリをボトム ブラケットシェルの開口部に通して、ダウンチューブ内で固定ナットが取り付け穴の上にくるように配置します。



電気ケーブルの設置



機械ケーブルの取り付け



シートポストアセンブリ

1. 45mmボタンヘッドキャップスクリューの頭の下のねじ山にLoctite 242を塗布します。45mmボタンヘッドキャップスクリューにクロスバーを取り付け、3Nmのトルクで締め付けます。

2. 固定ネジの両方にLoctite 242が塗布されていることを確認します。

3. シートポストの切り欠きに湾曲したワッシャーと調整ダイヤルを取り付けます。

4. クロスバーを取り付けた状態でボタンヘッドキャップスクリューを取り付け、ねじ山がかみ合いでダイヤルを回します。

5. 球面ワッシャーを35mmの球面キャップスクリューなので、凹面がスクリューの凸面と噛み合います。

6. クロスバーを取り付けます。

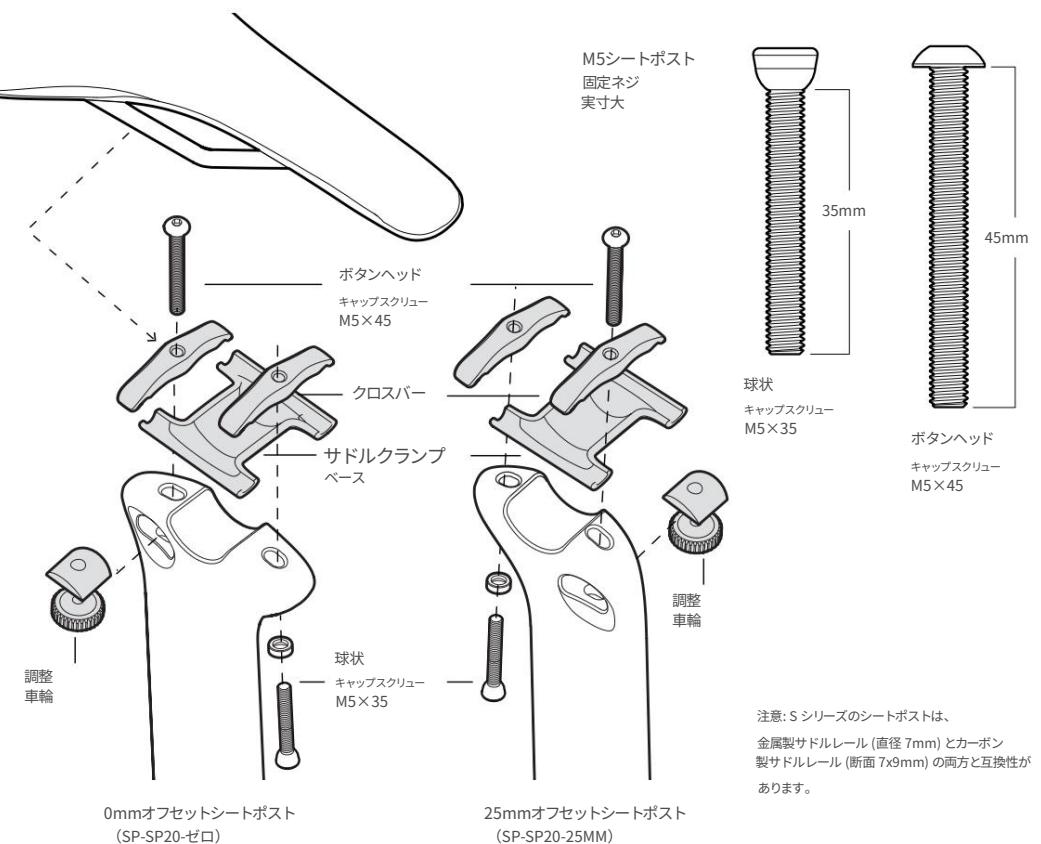
7. シートポストの上面の半径部分にカーボンアセンブリコンパウンドを薄く塗布します。

8. 図に従って、下部サドルクランプベースを取り付けます。

9. サドルレールを上部と下部のクランプ面の間に配置します。

10. 最初に調整ホイールを使用して、希望のサドル角度を確立します。

11. 対側の角度調整ネジを締めてサドルを8~9Nmで固定します。



シートポストの切断手順

注: Cervélo Aeroシートポストはすべて、後端に45度の面取り加工が施されていることが必須です。取り付け後にトリミングが必要な場合は、以下の方法を推奨します。

1. シートポストの挿入を最小6.5cm、最大8.5cmに維持するように注意しながら、慎重に測定し、薄い色のグリースペンシルを使用して、シートポストの切断位置を正確にマークします。

2. SシリーズシートポストをPark Tool SG-7.2ソーガイド(または同等品)に挿入し、ツールのブレードガイドを通してカットオフラインがはっきりと見えるようにします。

3. カーボン複合材の切断専用に設計されたブレード(または1インチあたり32個以上の歯を持つ細かい歯のブレード)を使用して、シートポストの切断に進みます(Park Toolの指示に従ってください)。

4. 細かい目のサンドペーパーを使用して、切り口のほつれやバリを慎重に取り除きます。切り口から約10cm離れたところにクランプを置きます。

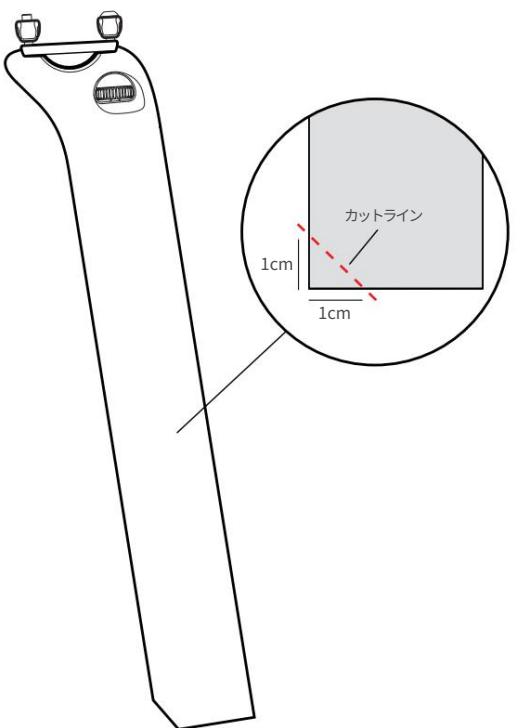
5. グリースペンシルを使って、シートポストの後端に切断面から1cmの点を、そしてシートポストの後ろから1cmの点を下端に印を付けます。この2点を結んで45度のガイドラインとなる線を引きます。

6. のこぎりの刃をグリースペンシルの印に慎重に当てます。カットを続行すると、シートポストの後端に45度の面取りがカットされます。

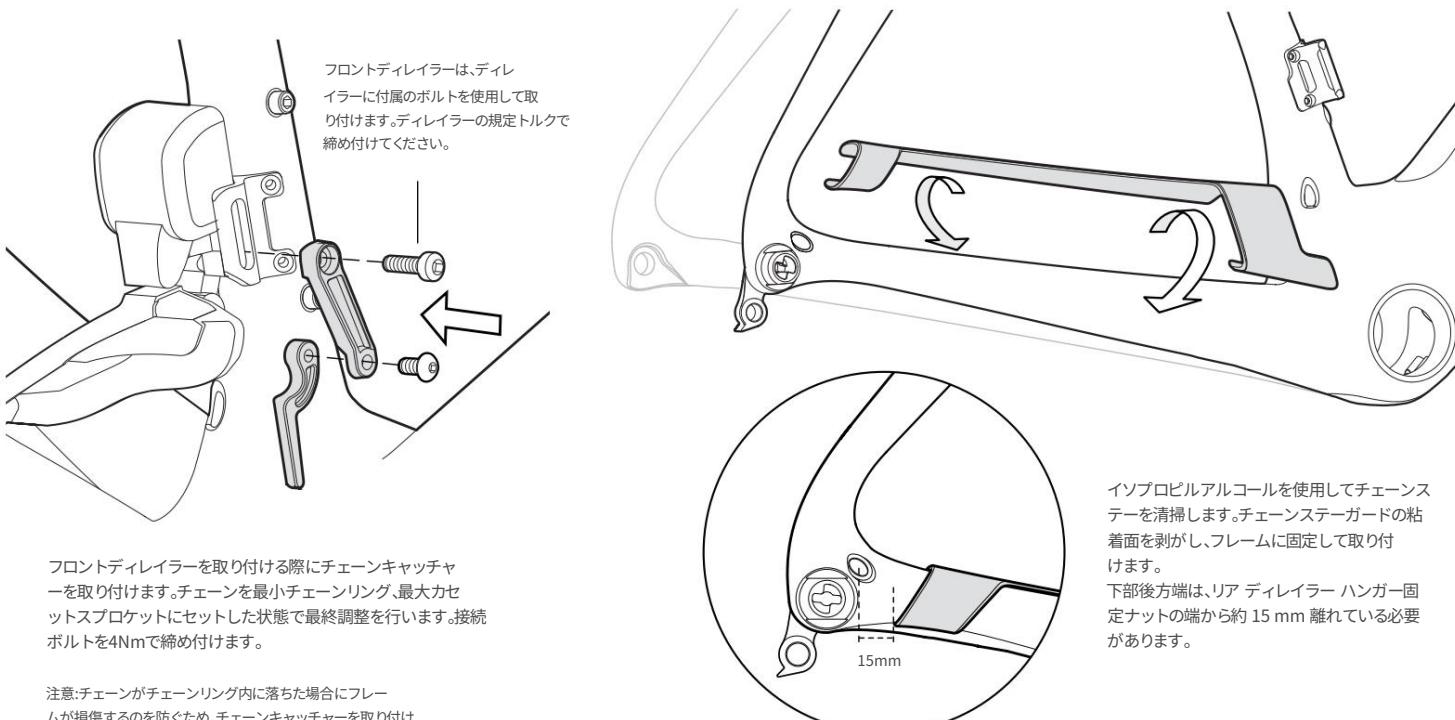
7. 端を丁寧に研磨し、カーボンアセンブリコンパウンドを塗布した後、フレームに戻します。

WARNING

トリミングが必要な場合は、最終的な長さはフレームにシートポストが最低6.5cm残るようにしてください。この要件を満たさない場合、保証の対象外となるフレームの損傷、またはライダーの重傷につながる可能性があります。

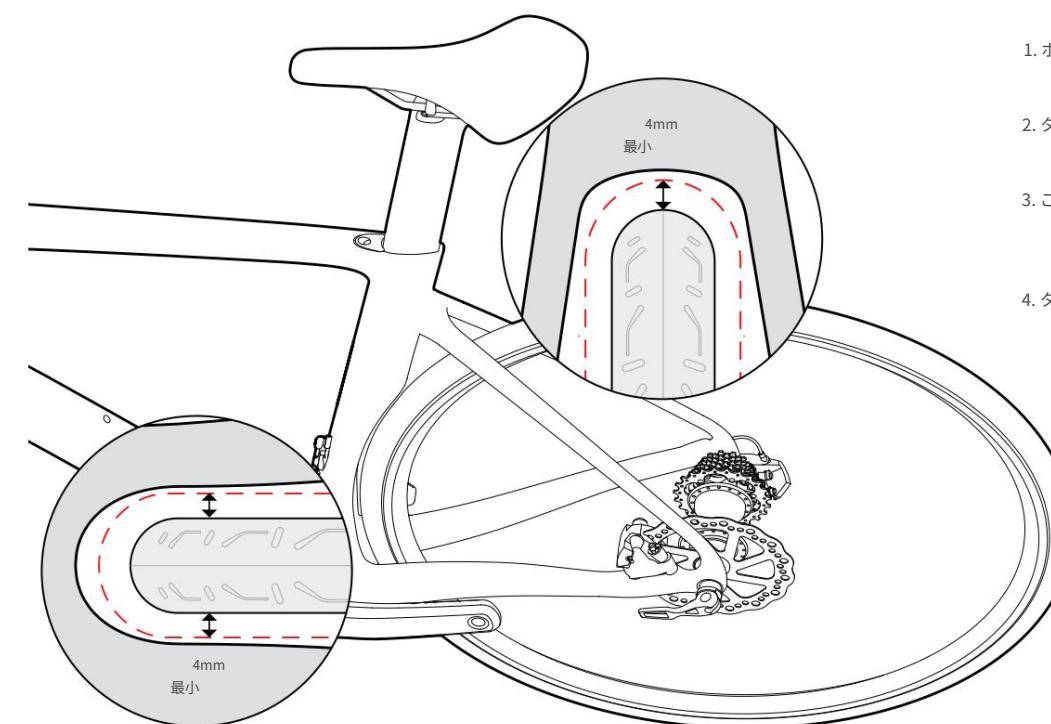


フレーム保護の取り付け



タイヤクリアランス

Cervéloバイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低4mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤとリムの接合部はますます複雑化しているため、Cervéloではタイヤを選ぶ前に、利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



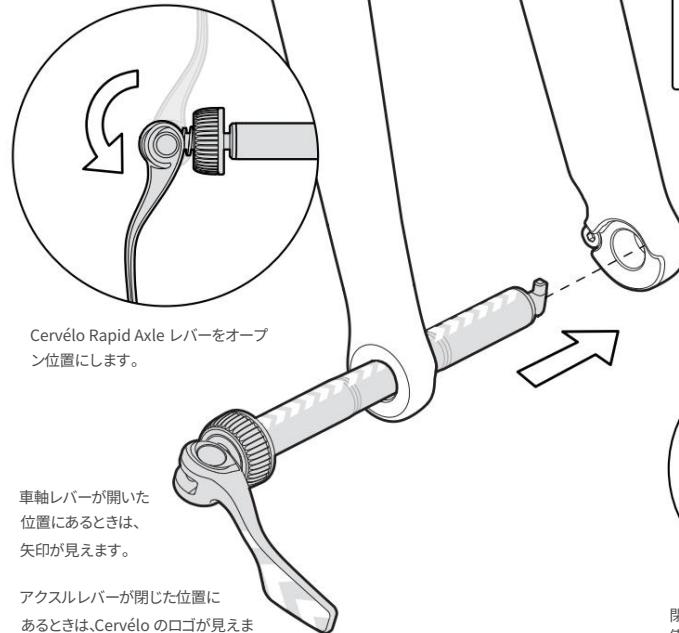
1. ポトムブラケット接合部におけるチェーンステー間のスペースを測定します。
2. タイヤの上部にあるシートステー間のスペースを測定します。
3. これら 2 つの数値のうち小さい方から 8 mm (片側 4 mm) を減算して、残りのスペースを決定します。
4. タイヤを取り付けて完全に空気を入れた状態でホイールに合うかどうかを確認するために、タイヤの幅を測定してください。

WARNING
タイヤとフレームまたはフォークが接触すると、走行中にコントロールを失い、深刻な怪我につながる可能性があります。これらのガイドラインに従わない場合、フレームに損傷が生じる可能性があり、Cervélo 限定生涯保証の対象外となります。

迅速な車軸ホイールの取り付け

WARNING

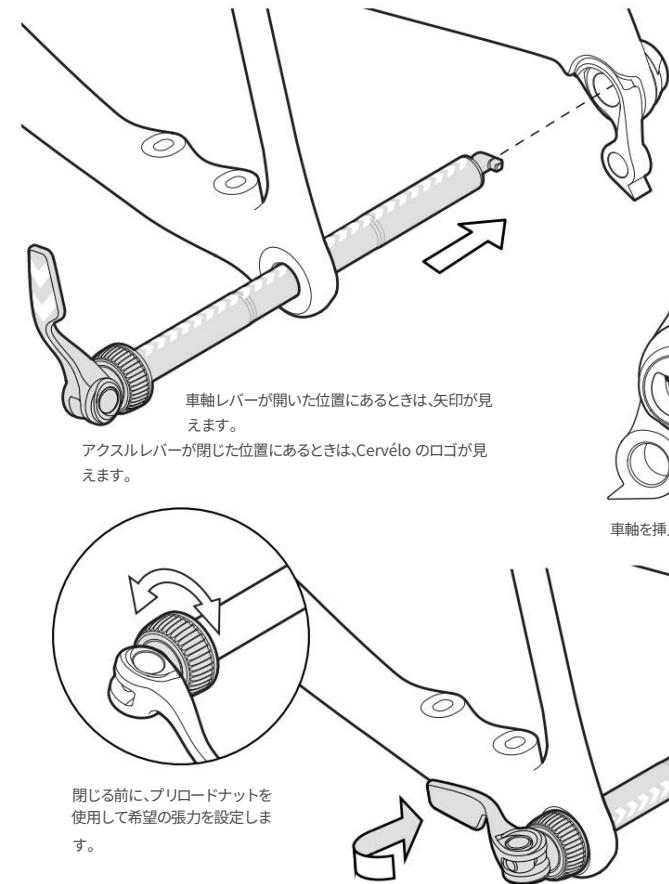
ライダーの安全を確保するためには、Cervélo Rapid Axleを正しく取り付けることが不可欠です。正しく取り付けてないと、転倒につながり、ライダーが重傷を負う可能性があります。



前輪を固定するには、グリースを塗布したアクスルを、ドライブサイドのドロップアウトからホイールハブに通し、アクスルのT字型エンドをインサートに合わせます。アクスルを時計回りに90°回転させ、T字型エンドがインサートに当たらない位置まで回します。レバーの締め付けが強すぎる場合や弱すぎる場合は、プリロードナットを調整して、レバーがしっかりと固定されるようにします。

WARNING

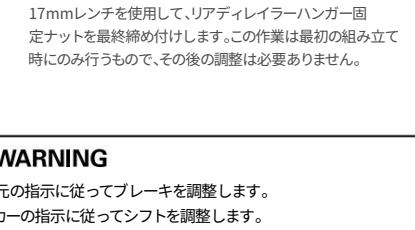
レバーを閉じるのに必要な力は、手のひらにはっきりとした跡を残すか、閉じるときにこの作用を得るためにフォークの脚の周りに指を巻き付ける必要があります。



後輪を固定するには、グリースを塗布したアクスルを、非駆動側のドロップアウトからホイールハブに通し、アクスルのT字型エンドをディレイラーハンガーのインサートに合わせます。アクスルを時計回りに90°回転させ、T字型エンドがインサートに当たって止まるまで回します。レバーの締め付けが強すぎる場合や弱すぎる場合は、プリロードナットを調整して、レバーがしっかりと固定されるようにします。

WARNING

レバーを閉じるのに必要な力は、手のひらにはっきりとした跡を残すか、閉じるときにこの作用を得るためにチェーンステーに指を巻き付ける必要があります。



www.cervelo.com

2019 S3 ディスク リテーラー アセンブリ マニュアル

CER-S3D-V2 2019-02-15

cervelo